

～教育自立圏～

弘前市教育委員会・第三中学校区小中連絡協議会共催

調査研究校公開発表会

を開催しました。

日 時：平成29年11月22日（水） 午後1時45分～午後4時30分
会 場：弘前市立大成小学校
参加者：206名

弘前市教育委員会では、平成28年度から2年間、調査研究校として4つの中学校区（裾野中学校区・東目屋中学校区・第三中学校区・石川中学校区）において、小中一貫教育とコミュニティ・スクールの調査研究を行ってきました。

このうち、第三中学校区において大成小学校を会場に、公開発表会を開催しました。

公開授業

全ての学級で公開授業を行いました。

ひろさき卍学や弘前式健康教育コアカリキュラムの授業のほか、小中一貫教育を見据えた第三中学校の先生による乗り入れ授業などを行いました。



全 体 会

弘前市教育委員会の佐々木教育長のあいさつに続き、第三中学校区の取組を第三中学校の齊藤校長、石田教頭が発表しました。

- ・先進校視察の状況
- ・学校運営（連絡）協議会の組織づくり
- ・地域コーディネーターの活動
- ・目指す子ども像（15歳の姿）の検討
- ・校内、中学校区の組織体制 など



講 演

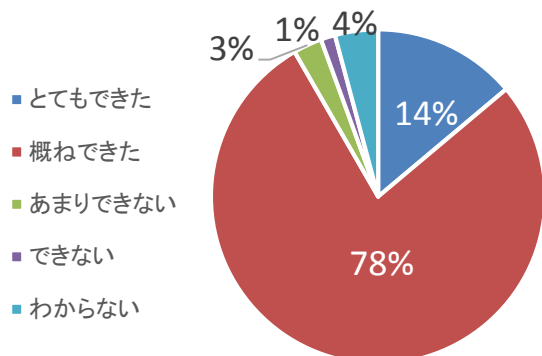
平成28年度から弘前市教育自立圏の構築に係るアドバイザーをお願いしている青森中央学院大学教授 高橋 興 氏による「小中一貫教育とコミュニティ・スクール(CS)の一体的な推進の必要性と課題」と題して御講演をいただきました。

講演では、小中一貫教育とコミュニティ・スクールを同時に進めていくことで学校と地域が一緒になって、地域の子どもを育てていくことが可能になること、コミュニティ・スクールは社会教育との協働が不可欠であることなどのお話をいただきました。



参加者アンケート結果から

教育自立圏の理解が進んだ 92%



公開発表会を参観して、教育自立圏の取組を理解することはできましたか？

【主な意見】

- ・中学校の先生の乗り入れ授業は一貫教育がスムーズに進むことが期待できる。
- ・大成小学校の先生方の取組を参考に授業づくりがイメージできた。
- ・地域住民が学校行事に参加できる取組が必要だと思う。
- ・児童生徒数が減少している現実を踏まえると、教育自立圏は必要な取組だと思う。